

設立趣旨書

1 趣旨

がん医療の進歩がめざましく、多くのがん体験者が地域社会で生活する時代となった一方、がん体験者の約4割が再発・転移などによる再治療が必要な状態であり、国を挙げたがん対策がなされているが、未だ克服には至っていません。「積極的治療の効果が期待できない」と医師より告げられたがん体験者の苦悩は計り知れず、医療従事者として呻きを聞くたびに、がんと共に生きるために必要なことは、「がんと共にどう生きていくのかについて考える力を育むこと」、「がんと診断された時に身に着けた生きる力を見つめなおし、さらに育むこと」の2点が重要だと考えます。

本団体の前身である任意団体「ともいき京都」は、第一にがんと共に人生をどう生きるかについて自分の力で考え、選びとる力を共に育むこと、第二にそこで身に着けた生きる力を、がん体験者はもちろんのこと、他の人々の暮らしに役立てること、第三に多様な考えや生き方が尊重されるネットワークを構築することを目的に、活動に取り組んできました。この活動により構築した「がんを体験した人が、生きる力を発揮して知恵を育み、周りのいのちと共に生き、支え合うネットワーク」は、急速に進行する超高齢社会において、単にがんという疾患にとどまらず、様々な慢性疾患と向き合う人やその家族にとり、病いや老いと共に生きる力へとつながるものであると確信しております。

本団体は、任意団体時代から取り組んできた活動を、透明性の高い効率的な運営のもと、活動に賛同される方々や団体との協働により、広く地域社会で病いや老いと共に生きる人やその家族の支援へと発展させるため、特定非営利活動法人となることを決意致しました。

今後は、重層的な市民文化を育んできた京都で、任意団体時代に構築した知恵やネットワークを礎に、病いや老いと共に生きる人やその家族が互いに交流を深め、知恵を育み支え合うことの出来る社会づくりに貢献することを目指します。

2 申請に至るまでの経過

2015年7月10日：がん体験者の秘めたる力を対話によって結集し、生きる力を育み支え合うコミュニティの創造を目指して、「ともいき京都」の活動を開始。主として、地域のコミュニティスペースを利用した定例会を開催し、参加者同士の自由な語りを促す場をつくり、がん体験者と企画した様々なワークショップによって相互交流を深め、対話を中心としたパートナーシップを構築することを目指す活動を継続的に展開。活動継続のためには、公益性が高く信頼性のある法人組織を設置し事業を運営する必要があると、NPO法人の設立の意思を固めた。

2022年3月22日：第1回設立発起人会を開催し、設立趣旨、定款、事業計画および活動予算、設立当初の役員などについての案を審議

2022年6月12日：設立総会を開催し、設立代表者より設立の趣旨、定款、事業計画及び活動予算、設立当初の役員などの案を提案し、審議の上決定

令和 4年 6月12日

特定非営利活動法人 ともいき京都
京都市下京区河原町通正面下万屋町342番地
ガーデンコート河原町810号
設立代表者 氏名 田村 恵子